

OVERSEAS BUSINESS

海外事業

概要

チャレンジ2020ビジョンで掲げた当社グループの成長の柱となる事業を目指し、海外拠点・人員の拡充を推進するとともに、豪州、北米および東南アジア地域におけるLNGや天然ガス関連事業に参画してきました。今後もさらなる事業展開の検討を行っていくとともに、経営資源を効率的に配分し、展開していきます。

売上高 **509 億円** 2019年3月期

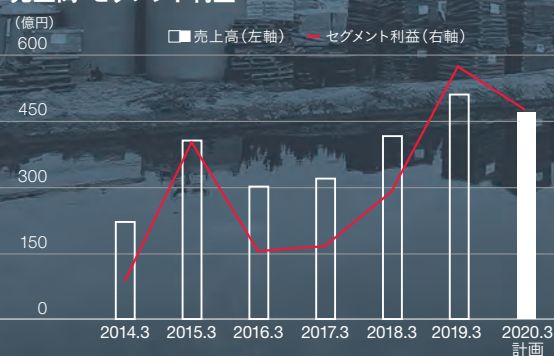
セグメント利益 **153 億円** 2019年3月期

- 国内で培った中下流事業に関するノウハウ
- 原料調達活動や事業参画等において得られたグローバルネットワーク

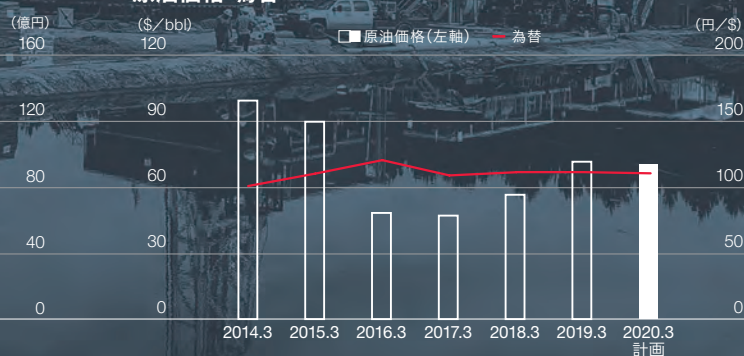
強み リスク

- 各国固有の法規制や商習慣への対応等による事業運営の停滞、費用負担増
- 海外事業全般における、原油・ガス価格および外国為替相場の変動による収支への影響

売上高・セグメント利益



原油価格・為替



グローバルな総合エネルギー企業としての発展を目指します

国内外で培ったLNGバリューチェーンに関わる経験を生かしつつ、エリアごとの特性に応じた事業を深化・拡大させ、「LNGといえば東京ガス」というポジションを高めていきます。

また、安定的なリターンが期待できる中下流を中心としたエネルギーインフラ構築案件等への投資を進め、エネルギー価格変動影響を低減したポートフォリオの構築を目指すとともに、既存案件の付加価

値向上も進めていきます。

さらに、今後の拡大が見込まれる再生可能エネルギー等、次なる事業分野への取組みや、市場の成長と自社の強みの発揮を見込むことができる次なるエリアへの展開を視野に入れていきます。

当社グループの海外事業は、北米、東南アジア、豪州等、9か国、13拠点に展開しています。

	上流事業	中下流事業	事業拠点		
北米	■シェール案件の運営・管理	■天然ガス火力発電事業 ■再生可能エネルギー事業	東京ガスアメリカ ヒューストン	TGESアメリカ サウスカロライナ州	アカリオ・ベンチャーズ シリコンバレー
東南アジア	—	■LNG基地事業 ■天然ガス火力発電事業 ■ガス供給事業 ■エネルギーサービス事業	東京ガスアジア シンガポール バンコク事務所 タイ	ジャカルタ事務所 インドネシア ホーチミン・ハノイ事務所 ベトナム	マニラ事務所 フィリピン クアラルンプール事務所 マレーシア
豪州	■LNG案件の運営管理	—	東京ガスオーストラリア パース・ブリスベン		
その他	—	—	パリ事務所 フランス		

「LNGバリューチェーンの構築」および「再生可能エネルギー拡大」を目指します

北米

参画プロジェクトと拠点

- 上流事業
- 中下流事業
- 拠点



上流事業

資源価格の動向を注視しつつ、ガス田の生産性・埋蔵量を慎重に確認しながら、経験あるオペレーターと提携し、優良資産へ投資していきます。当社はこれまでに、3つの米国天然ガス開発事業に参画しました。

プロジェクト	参画時期	出資比率
米国 バーネット・シェールガス開発事業	2013年3月	25%
米国 イーグルフォード・シェールガス開発事業	2016年6月	25%
米国 東テキサスガス開発事業	2017年5月	30%



パースボロ発電所

エネルギー需要が大きく、天然ガス市場の長期的な成長も見込むことができ、自由化やエネルギーの市場取引が進んでいる北米においては、上流事業、中下流事業、再生可能エネルギー事業への参画を推進します。また、今後の国内外の事業に資するノウハウの獲得も目指しつつ、収益基盤を確立していきます。

中下流事業

再生可能エネルギー事業

天然ガス火力発電事業については、電力需給や他電源との競合状況、州ごとの規制や事業環境を踏まえ、参画案件を厳選していきます。近年では米国の大きな需要地である東海岸の2つのガス発電事業に参画しました。

また、仏国エンジー社が設立したメキシコの再生可能エネルギー開発運営会社の株式50%を取得していくことを2019年4月に発表しました。当社はエンジー社とともに、同社をプラットフォームとしてメキシコにおける再生可能エネルギー事業に取り組んでいきます。

プロジェクト	参画時期	出資比率
メキシコ 天然ガス火力発電事業 (パビオ発電所)	2004年10月	49%
メキシコ 天然ガス火力発電事業 (MTファルコン発電所)	2010年6月	30%
米国 産業向けエネルギーサービス事業 (TGESアメリカ)	2015年2月 設立	100%
米国 天然ガス火力発電事業 (エンパイア発電所)	2016年10月	25%
米国 天然ガス火力発電事業 (パースボロ発電所)	2017年4月	33.33%
メキシコ 再生可能エネルギー共同開発事業	2019年 (予定)	50% (予定)

東南アジア

東南アジアにおける拠点



急速な経済成長に伴い天然ガス需要の高まりやLNG輸入の拡大が見込まれる東南アジアの国々において、各国政府・企業とも連携してLNG・天然ガス導入やエネルギーインフラの構築に貢献していきます。具体的には、LNG受入基地、ガス火力発電、ガス配給、エネルギーサービスといった中下流事業に取り組んでいきます。

こうした取組みを推進する拠点として、マレーシア、シンガポール、インドネシア、タイ、ベトナム、フィリピンに事務所を設立しました。



ジャカルタ事務所

中下流事業

当社のLNG・天然ガスの利用に関する知識・経験を生かし、天然ガスインフラ整備に貢献するべく、天然ガスエンジニアリングから運営ノウハウ・省エネサービスまで東京ガスグループとして幅広い価値を提供していきます。具体的には、今後各国で進められるLNG基地・発電等のエネルギーインフラを構築するといったハード面での参画だけではなく、需要開拓、LNG基地オペレーション、LNG調達などのソフト面においても貢献していき、LNGバリューチェーン全体に関与し存在感を高めていきます。

2017年にはベトナムとインドネシアにおけるガス配給事業への出資を決定しました。2018年には出資したタイのガス配給事業会社を通じ、産業需要家向けに同国では初となる民間企業単独でのガス配給を開始しました。また、フィリピンにおけるLNG受入基地の建設および運営事業に関する共同開発契約を締結しました。

エンジニアリング分野としては2017年にバングラデシュのLNG受入基地に関するフィージビリティ・スタディおよびエンジニアリング業務、2018年にはタイのLNG受入基地の建設工事におけるプロジェクト・マネジメント・コンサルタント業務を受注しました。

プロジェクト	参画時期
フィリピン LNGバリューチェーン構築に関する関心表明書の提出	2017年10月
フィリピン フィリピン共和国におけるLNG受入基地の建設および運営事業に関する共同開発契約の締結	2018年12月
ベトナム ガス配給事業会社への出資および戦略的アライアンス締結	2017年7月
タイ 天然ガス火力発電事業への出資	2016年10月
タイ Nong Fab (ノンファブ) LNG受入基地建設におけるPMC業務の受注	2018年1月
タイ ガス配給事業会社への出資 ガス配給事業開始	2018年1月 2018年12月
インドネシア ガス配給事業会社への共同出資	2017年10月
バングラデシュ LNG受入基地に関する業務の受注	2017年7月



Message

マニラ事務所

Lady Trishia
Gonzales

(レディトリア ゴンザレス)

フィリピンでは国産ガスの将来的な枯渇を背景に、当地では初めてとなるLNGの導入が期待されており、政府は国内外企業に対してLNG受入基地の建設誘致を推進しています。私は、政府機関や民間のエネルギー関連企業と日頃からコミュニケーションを図るとともに、エネルギー関連のセミナーやフォーラムなどに参加することで、大きくその姿を変えようとしているエネルギー政策やLNG関連法規制の動向、さらにはステークホルダーの活動状況に関する情報を収集する役割を担っています。またその内容は迅速かつ正確に、幅広く社内関係者に共有することを心掛けています。フィリピンでは今までLNGの利用実績がありません。そのため、政府関係者を中心にLNG産業を学ぼうという気運が高く、日々、LNG受入基地ビジネスやLNGの輸入調達に関する問合せ、当社基地見学のご要望などをいただいております。私はこのような業務経験を通じてLNGバリューチェーン全体の知見・ノウハウを学び、フィリピンと日本両国の協力関係の強化に貢献したいと考えています。

既存プロジェクトの運営・管理に注力していきます

豪州

参画プロジェクトと拠点



イクシスLNGプロジェクト

上流事業

東アジアへの一大LNG供給地として成長を遂げた豪州においては、新たに稼働を開始したイクシスプロジェクトを含め、5つのLNGプロジェクトに参画しています。引き続き、この5つの保有資産の価値最大化に向けた運営・管理に注力していきます。



東京ガスオーストラリア(パース)

プロジェクト	LNG生産能力	参画時期	出資比率	生産(稼働)開始時期
ダーウィン	300wt/年	2003年	3.07%	2006年1月
プルート	490wt/年	2008年	5.00%	2012年4月
ゴーゴン	1,560wt/年	2009年	1.00%	2016年3月
クイーンズランド・カーティス	850wt/年	2011年	1.25%(ガス田)/2.50%(第二液化プラント)	2014年12月
イクシス	890wt/年	2012年	1.575%	2018年10月



Message

東京ガスオーストラリア
中山 渉

LNGの安定供給と収益の拡大を目指し、東京ガスオーストラリア社では5つの大規模LNGプロジェクトに参画し事業管理を行っています。

2018年10月に「イクシスLNGプロジェクト」がついに出荷を開始し、当社の豪州のプロジェクトがすべて操業段階に移りました。イクシスプロジェクトは史上初めて日本企業がオペレーター(操業主体)を務め、参画企業は当社をはじめ日本の主要なガス・電力会社が名を連ねる「日の丸プロジェクト」です。当社はすでに豪州で操業している4つの参画プロジェクトの経験を生かし、建設段階から操業に移る際のプロジェクト運営に関する助言や、より効率的でリスクの少ないガス生産井掘削計画の提案などを通じてプロジェクトの価値向上に貢献してきました。

プロジェクトへの参画を通じて複数の石油メジャー企業等とともに事業運営を行っている東京ガスオーストラリア社は、当社の海外事業人材の育成にも注力しています。所属員の業務経験をもとにした活発な教育活動を通じて、海外事業の価値最大化に貢献できる人材の早期育成に努めています。

持続可能な開発目標(SDGs)達成への取組み

東南アジアにおけるLNGバリューチェーン構築への挑戦

- 2017年7月にベトナム、同年10月にインドネシア、2018年1月にタイのガス配給事業会社に出資を行いました。また2018年12月、フィリピンにおけるLNG受入基地の建設および運営事業に関する共同開発契約を締結しました。
- 当社が保有する技術・ノウハウを生かしたエネルギーソリューションやインフラ構築により、クリーンな天然ガスを普及していきます。また、現地での事業を通じた雇用創出、経済発展への貢献が、教育機会の増加、格差解消につながっていくことも期待されています。

